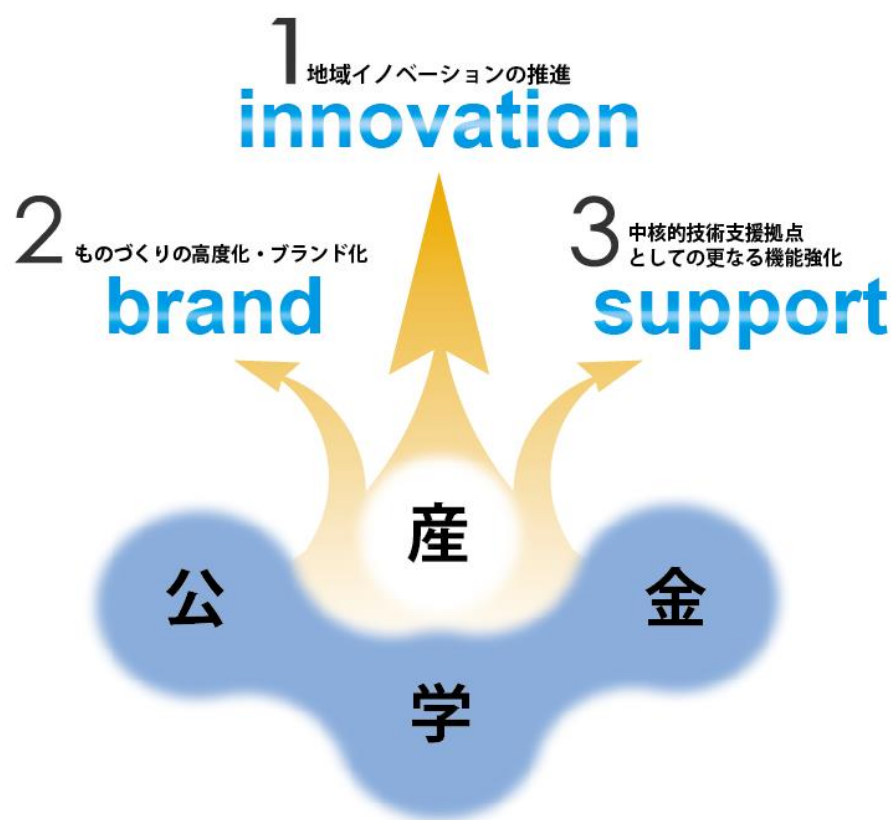


第2期中期目標期間における業務の実績に関する報告書 (中期目標期間評価)

業務実績・決算の概要

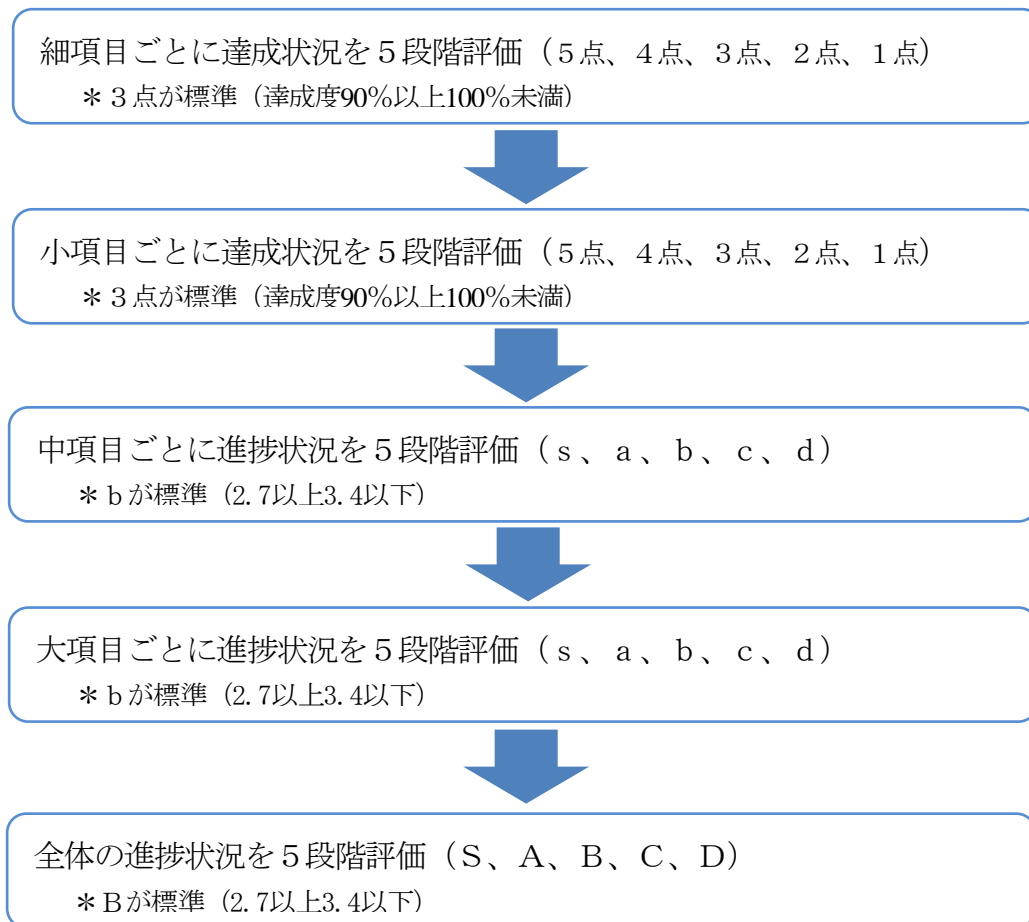


第2期中期目標期間：平成26年度～平成30年度

第二期中期目標期間（H26～H30 年度）における業務実績

1 自己評価結果

(1) 自己評価の方法



(2) 自己評価の結果

◆全体的な状況

中期目標を十分達成（A評価（A）：3.7ポイント）

大項目別評価の評点平均値に各大項目のウェイトを乗じて得た数値の合計値は3.7（当該大項目内の細項目別評価の評点の単純平均値は3.5）であり、「A評価」の判断の目安である「3.5以上4.2以下」の範囲内となっている。

平成30年度に実施した見込み評価でも、3.7ポイントであった。

◆評定の概要

別表のとおり

2 自己評価の総括

(1) 全体的な状況

4つの大項目の内、「県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上」及び「財務内容の改善」は「a評価」で中期目標を十分達成した。また、「業務運営の改善及び効率化」及び「その他業務運営に関する重要事項」は「b評価」で中期目標を概ね達成した。

(2) 大項目ごとの状況

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

評 定 中期目標を十分達成 (a)

当該大項目内の中項目別評価の評点平均値に各中項目のウェイトを乗じて得た数値の合計値は3.9（当該大項目内の細項目別評価の評点の単純平均値は3.9）であり、「a評価」の判断の目安である「3.5以上4.2以下」の範囲内となっている。

「県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」を構成する3つの中項目である「戦略産業の育成・集積に向けた地域イノベーションの推進」、「中小企業力の向上に向けたものづくり力の高度化・ブランド化の推進」及び「中核的技術支援拠点」としての更なる機能強化」のすべてにおいてa評価であり、中期目標を十分達成した。

【特記事項】

- 「地域イノベーション戦略支援プログラム」及び「ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業」を獲得して、イノベーション推進センターの体制や取組を充実
- イノベーション推進センターや産学公連携室を中心とした企業・大学等訪問による積極的なコーディネート活動による国等の提案公募型事業（競争的資金）獲得における多数の成果
- 研究開発の順調な進捗、やまぐち3Dものづくり研究会（H26）、衛星データ解析技術研究会（H28）及びスマート★づくり研究会（H30）の新規設立と既存研究会を含めた5つの研究会の積極的な活動、県内企業における技術革新計画の承認支援、国等の提案公募型事業の獲得及び企業の製品化で大きな成果
- 宇宙航空研究開発機構（JAXA）機能の一部移転の受入、水素関連技術支援拠点機能や海外展開支援機能の強化、産業技術センターの3Dものづくり支援の拠点機能を強化するため「バーチャル3Dものづくり支援センター」の立ち上げ業務を実施
- 先端的試験研究機器の整備等による技術支援サービスを充実させて開放機器や依頼試験で実績向上

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

評 定 中期目標を概ね達成 (b)

当該大項目内の中項目別評価の評点平均値に各中項目のウェイトを乗じて得た数値の合計値は3.0（当該大項目内の細項目別評価の評点の単純平均値は3.0）であり、「b評価」の判断の目安である「2.7以上3.4以下」の範囲内となっている。

「業務運営の改善及び効率化に関する事項」を構成する6つの中項目の進捗はすべてb評価であり、中期目標を概ね達成した。

【特記事項】

- 経営管理部事務職員の増員
- 経営企画グループを経営企画室に改組
- 定年退職者の知識や経験を活用するための再任用制度の創設・施行
- 職員（研究員及び事務職員）の能力開発研修を体系的に整理
- 労働安全衛生法等に係る管理者・主任者等によるそれぞれの業務の精査
- 衛生委員会から安全衛生委員会への改組
- 化学物質取扱規程を見直し、化学物質のリスクアセスメントを実施

- 地独法改正に伴う業務方法書の改正、それに伴う規程類の整備
- 研究活動・公的研究費に係る不正行為・不正使用への対応等ガイドラインへの対応に係る規程類の整備
- セキュリティ及びコンピュータによる情報漏洩防止の対策強化
- ネットワーク関連機器の更新・保守計画を作成と、それに基づく計画的な更新
- 業務継続計画（BCP）の策定及び継続的な見直しの実施

第3 財務内容の改善に関する事項

評定 中期目標を十分達成 (a)

当該大項目内の中項目別評価の評点平均値に各中項目のウェイトを乗じて得た数値の合計値は3.6（当該大項目内の細項目別評価の評点の単純平均値は3.5）であり、「a評価」の判断の目安である「3.5以上4.2以下」の範囲内となっている。

「財務内容の改善に関する事項」を構成する2つの中項目について、「自己収入の確保」の進捗はa評価、「経費の抑制」の進捗はb評価であり、中期目標を十分達成した。

【特記事項】

- 機器整備や研究開発に係る競争的資金等の獲得
- 開放機器や依頼試験の実績向上による利用金額・件数の増加
- 厳密かつ効果的な予算配分による予算編成及び効果的な予算執行
- 比較的規模の小さな経費の精査による経費縮減

第4 その他業務運営に関する重要事項

評定 中期目標を概ね達成 (b)

当該大項目内の中項目別評価の評点平均値に各中項目のウェイトを乗じて得た数値の合計値は3.4（当該大項目内の細項目別評価の評点の単純平均値は3.4）であり、「b評価」の判断の目安である「2.7以上3.4以下」の範囲内となっている。

「その他業務運営に関する重要事項」を構成する2つの中項目の進捗は、「施設設備の適切な管理」がa評価、「環境負荷の低減」がb評価であり、中期目標を概ね達成した。

【特記事項】

- 施設・設備の保守業務について、計画的に予算配分することで、安全性や業務の信頼性を確保
- 必要性の高い修繕に対して、優先的に予算執行することで施設・設備を良好な状態に保持
- 施設利用者の要望を反映させる仕組みとして利用者アンケートを実施
- JAXA 展示コーナーの設置及び一定期間、展示コーナーの土日開放
- 廃棄物管理の体制と規程の見直し

3 平成26～30年度業務の評価（概要）

【大項目】第1 県民サービスの質の向上

（評定：a [a] 大項目ウエイト平均：3.9 [3.8]）

※[]は、H30年度に実施した見込み評価時のもの

（H26：4.2, H27：3.9, H28：3.9, H29：3.9, H30：3.9）

中項目 小項目 細項目	評定	評定の理由 主な取組	報告書																														
第1-1 地域イノベーションの推進	a [a]	中項目ウエイト平均：4.0 [4.0] (H26：4.0, H27：4.0, H28：4.0, H29：4.0, H30：4.0)	—																														
第1-1(1) 推進体制の整備	4 [4] H30 (4) H29 (4) H28 (4) H27 (4) H26 (4)	中期計画を十分達成 ○国等の補助事業を活用し、4つのチームにより地域イノベーション創出のための活動を推進 ○国の終了評価（地域イノベーション戦略推進地域及び戦略支援プログラム）で高い評価（A評価）（H30） ○新たに水素関連技術支援チームを設置し、水素関連技術の支援機能を強化（H28） ○新たにバイオ関連推進チームを創設（H30） ○環境・エネルギー分野で累計57件、医療関連分野で累計24件の事業化	10																														
第1-1(2) 関係機関との連携による研究開発・事業化促進	4 [4] H30 (4) H29 (4) H28 (4) H27 (4) H26 (5)	中期計画を十分達成 ○イノベーション推進センター及び産学公連携室を中心とした優れた取組による競争的資金獲得で多くの実績 <イノベーション推進センター関連> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29 (23)</td> <td>29 (15)</td> <td>34 (14)</td> <td>25 (6)</td> <td>10 (5)</td> </tr> </tbody> </table> ※（）内、新規件数 <産学公連携関連> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12 (9)</td> <td>10 (4)</td> <td>13 (11)</td> <td>16 (10)</td> <td>10 (3)</td> </tr> </tbody> </table> ※（）内、新規件数 <ものづくり補助金計画書作成支援> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>53 (25)</td> <td>84 (39)</td> <td>63 (35)</td> <td>-</td> <td>17 (25)</td> </tr> </tbody> </table> ※（）内、採択件数	H26	H27	H28	H29	H30	29 (23)	29 (15)	34 (14)	25 (6)	10 (5)	H26	H27	H28	H29	H30	12 (9)	10 (4)	13 (11)	16 (10)	10 (3)	H26	H27	H28	H29	H30	53 (25)	84 (39)	63 (35)	-	17 (25)	15
H26	H27	H28	H29	H30																													
29 (23)	29 (15)	34 (14)	25 (6)	10 (5)																													
H26	H27	H28	H29	H30																													
12 (9)	10 (4)	13 (11)	16 (10)	10 (3)																													
H26	H27	H28	H29	H30																													
53 (25)	84 (39)	63 (35)	-	17 (25)																													

第 1-2 ものづくり力の高度化・ブランド化の推進	a [a]	中項目ウエイト平均：3.6 [3.6] (H26:4.3, H27:3.9, H28:3.5, H29:3.8, H30:3.6)	—																																																	
第 1-2(1) 実用化研究への取組み	3 [3] H30 (3) H29 (3) H28 (3) H27 (4) H26 (4)	<p>中期計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術戦略に基づく実用化研究が概ね順調に進み、知財化・事業化が進展（テーマ数） <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7 (3件)</td> <td>11 (2件)</td> <td>8 (2件)</td> <td>7 (1件)</td> <td>6 (0件)</td> <td>延べ 39 (8件)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（）内、事業化件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術グループ横断的な取組 ➢ 「ものづくりチーム」編成（H27） ➢ 「ものづくりチーム」を「3D ものづくりチーム」と「製品開発チーム」に再編（H29） 	H26	H27	H28	H29	H30	計	7 (3件)	11 (2件)	8 (2件)	7 (1件)	6 (0件)	延べ 39 (8件)	17																																					
H26	H27	H28	H29	H30	計																																															
7 (3件)	11 (2件)	8 (2件)	7 (1件)	6 (0件)	延べ 39 (8件)																																															
第 1-2(2) 研究開発成果の普及・活用	3 [3]	小項目	—																																																	
ア 研究開発成果の発信・活用支援	3 [3] H30 (3) H29 (4) H28 (3) H27 (3) H26 (4)	<p>中期計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究報告書等の刊行、ホームページ、技術発表会等により研究開発成果の積極的発信 ・共同研究・受託研究の実施状況（テーマ数） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同研究</td> <td>16</td> <td>14</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>受託研究</td> <td>7</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table> <p>○研究成果の事業化・商品化実績（件数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table>		H26	H27	H28	H29	H30	計	共同研究	16	14	3	9	12	54	受託研究	7	11	10	11	9	48	H26	H27	H28	H29	H30	計	5	4	4	7	4	24	20																
	H26	H27	H28	H29	H30	計																																														
共同研究	16	14	3	9	12	54																																														
受託研究	7	11	10	11	9	48																																														
H26	H27	H28	H29	H30	計																																															
5	4	4	7	4	24																																															
イ 知的財産の管理	3 [3] H30 (3) H29 (3) H28 (3) H27 (3) H26 (3)	<p>中期計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究開発成果の知的財産化や権利の廃棄・継続を速やかに実施し、適切な知財管理を行った。 <p>(件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職務発明</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>特許出願</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>審査請求 (内早期)</td> <td>3 (0)</td> <td>6 (0)</td> <td>4 (0)</td> <td>6 (1)</td> <td>2 (0)</td> <td>21 (1)</td> </tr> <tr> <td>特許登録</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>権利の処分*</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>新規使用許諾</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> <p>※：過年度失効、期間満了及び放棄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知財管理の質の向上のため、知財研修や弁理士を交えた技術グループ毎の知財勉強会を実施 		H26	H27	H28	H29	H30	計	職務発明	7	4	4	7	2	24	特許出願	5	7	2	9	5	28	審査請求 (内早期)	3 (0)	6 (0)	4 (0)	6 (1)	2 (0)	21 (1)	特許登録	6	8	6	5	4	29	権利の処分*	1	0	1	9	10	21	新規使用許諾	5	4	6	5	6	26	21
	H26	H27	H28	H29	H30	計																																														
職務発明	7	4	4	7	2	24																																														
特許出願	5	7	2	9	5	28																																														
審査請求 (内早期)	3 (0)	6 (0)	4 (0)	6 (1)	2 (0)	21 (1)																																														
特許登録	6	8	6	5	4	29																																														
権利の処分*	1	0	1	9	10	21																																														
新規使用許諾	5	4	6	5	6	26																																														

第 1-2(3) 研究会活動の積極的展開

4
[4]
H30
(4)
H29
(4)
H28
(4)
H27
(4)
H26
(4)

中期計画を十分達成

○やまぐちブランド技術研究会、新エネルギー研究会活動による継続的支援
(やまぐちブランド技術研究会)

・技術革新計画承認

H26	H27	H28	H29	H30
6 件	5 件	5 件	6 件	4 件

・展示会への出展

展示会	内容
新価値創造展 2015	出展 3 会員、来場者約 300 名、商談件数 31 件、取引成立 4 件
エコプロダクツ 2015	出展 2 会員、来場者約 290 名、商談件数 10 件
新価値創造展 2016	出展 2 会員、来場者 199 名、商談件数 21 件、取引成立 1 件

(新エネルギー研究会)

・事業化：3 件

○3D ものづくり研究会の設立(H26)と積極的な活動

・ニーズに基づく試作 (6 件 (H27)、2 件 (H28) 2 件 (H29)、2 件(H30))、事業化 3 件

○衛星データ解析技術研究会の設立(H28)と積極的な活動

・研究会等の開催 (37 回)、プロポーザル公募による業務委託 (3 件)

○スマート★づくり研究会の設立(H30)

22

第 1-2(4) 研究開発計画策定や資金獲得支援 (国等の提案公募型事業獲得支援)

4
[4]
H30
(4)
H29
(4)
H28
(4)
H27
(4)
H26
(5)

中期計画を十分達成

○企業の技術革新計画の承認支援 (再掲)

H26	H27	H28	H29	H30
6 件	5 件	5 件	6 件	4 件

○技術革新計画承認企業に対する開放機器使用料及び新事業支援センター月額使用料金の減免措置施行 (H28)

○国等の提案公募型事業 (競争的資金) 獲得 (延べ 274 件) の積極的支援

H26	H27	H28	H29	H30
66(57)	78(58)	82(60)	41(16)	37(25)

※ () 内新規件数

26

第 1-2(5) 数値目標	5 [5]	小項目	—																												
ア 特許等の出願及び新規 使用許諾件数 5年間合計 55件	3 [3] H30 (4) H29 (5) H28 (2) H27 (4) H26 (3)	数値目標を概ね達成 達成度 98% ○特許等の出願及び新規使用許諾件数 <table border="1" data-bbox="794 353 1396 600"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特許等 出願</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>新規 使用 許諾</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>8</td> <td>14</td> <td>11</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table>	内訳	H26	H27	H28	H29	H30	計	特許等 出願	5	7	2	9	5	28	新規 使用 許諾	5	4	6	5	6	26	合計	10	11	8	14	11	54	29
内訳	H26	H27	H28	H29	H30	計																									
特許等 出願	5	7	2	9	5	28																									
新規 使用 許諾	5	4	6	5	6	26																									
合計	10	11	8	14	11	54																									
イ 山口県技術革新計画の 承認支援件数 5年間合計 20件	5 [5] H30 (4) H29 (5) H28 (5) H27 (5) H26 (5)	数値目標を達成 達成度 130% ◎支援した全ての企業が計画承認（再掲） <table border="1" data-bbox="810 878 1385 958"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6件</td> <td>5件</td> <td>5件</td> <td>6件</td> <td>4件</td> <td>26件</td> </tr> </tbody> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	計	6件	5件	5件	6件	4件	26件	29																
H26	H27	H28	H29	H30	計																										
6件	5件	5件	6件	4件	26件																										
ウ 国等の提案公募型事業 の獲得件数 5年間合計 30件	5 [5] H30 (5) H29 (5) H28 (5) H27 (5) H26 (5)	数値目標を達成 達成度 190% ◎センターで実施契約を伴うもの（件） <table border="1" data-bbox="833 1400 1321 1512"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8 (5)</td> <td>10 (2)</td> <td>14 (9)</td> <td>14 (3)</td> <td>11 (1)</td> <td>57 (20)</td> </tr> </tbody> </table> ※（ ）内、新規件数 (参考 H29) ・サポイン2件、・農林水産省補助事業4件 ・中国電力技術研究財団2件、・バリューブ ログラム、やまぎん助成基金、NEDO、スーパ ークラスター、地域イノベーション戦略支援 プログラム、ものづくり中小企業・小規模事業 者連携支援事業 各1件	H26	H27	H28	H29	H30	計	8 (5)	10 (2)	14 (9)	14 (3)	11 (1)	57 (20)	29																
H26	H27	H28	H29	H30	計																										
8 (5)	10 (2)	14 (9)	14 (3)	11 (1)	57 (20)																										

<p>エ 研究開発・技術支援が事業化（商品化）に至った件数 5年間合計 40件</p>	<p>5 [5] H30 (5) H29 (5) H28 (5) H27 (4) H26 (5)</p>	<p>数値目標を達成 達成度 125%</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>◎研究開発・技術支援が事業化（商品化）件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>(5)</td> <td>(4)</td> <td>(4)</td> <td>(7)</td> <td>(4)</td> <td>(24)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（）内、研究開発</p> </div>	H26	H27	H28	H29	H30	計	10	8	10	12	10	50	(5)	(4)	(4)	(7)	(4)	(24)	<p>30</p>
H26	H27	H28	H29	H30	計																
10	8	10	12	10	50																
(5)	(4)	(4)	(7)	(4)	(24)																
<p>第1-3 「中核的技術支援拠点」として更なる機能強化</p>	<p>a [a]</p>	<p>中項目ウエイト平均：4.0 [3.6] (H26:3.6, H27:3.8, H28:4.0, H29:3.8, H30:4.0)</p>	<p>—</p>																		
<p>第1-3(1) 効果的かつ切れ目のない企業支援の一層の充実（産学公の連携）</p>	<p>4 [3] H30 (4) H29 (4) H28 (4) H27 (3) H26 (3)</p>	<p>中期計画を十分達成</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・大学・国公設試や民間機関、やまぐち産業振興財団や金融機関等との連携を深めて、産学公金連携による企業支援 ○やまぐち事業化支援・連携コーディネート会議での山口大学との連携強化(H28) ○政府機関の一部移転、水素関連技術支援拠点機能強化など5件の国・県の施策への取組(H28) ○産業技術センターの3Dものづくり支援の拠点機能を強化する経済産業省補正予算事業に採択(H29)、バーチャル3Dものづくり支援センター立ち上げ業務実施(H30) </div>	<p>31</p>																		
<p>第1-3(2) 技術相談の充実</p>	<p>3 [3] H30 (3) H29 (3) H28 (3) H27 (3) H26 (3)</p>	<p>中期計画を概ね達成</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・技術相談対応の専任者を配置し、迅速かつ的確な対応 ・グループウェアによる情報共有や技術相談室を中心とした複数グループの連携等による多様な技術課題への対応力強化 ・サテライト窓口における周南地域地場産業振興センターと連携した企業訪問実施 ・県内企業の海外展開支援に係る当センターの基本方針を定め、外部機関と連携して県内企業の海外展開を支援(H28, H29, H30)、当センター企画の現地調査(H28, H29, H30) </div>	<p>37</p>																		

<p>第 1-3(3) 新たな技術課題の掘り起こし（農商工連携等の取組支援）</p>	<p>4 [4] H30 (4) H29 (4) H28 (4) H27 (4) H26 (4)</p>	<p>中期計画を十分達成</p> <p>○農業・漁業分野については、県内事業者や公設試等から課題抽出を行い延べ 54 テーマの研究開発に反映させ、15 件の事業化と、国等の提案公募型研究に延べ 19 テーマが採択（農業・漁業分野の研究開発テーマ数）</p> <table border="1" data-bbox="826 376 1305 454"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11</td> <td>8</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>○サービス分野については、医療関連の課題の掘り起こしから 14 件の事業化、衛星データの情報産業への展開で国等の提案公募型研究に 3 テーマが採択</p>	H26	H27	H28	H29	H30	11	8	12	13	10	<p>40</p>																																										
H26	H27	H28	H29	H30																																																			
11	8	12	13	10																																																			
<p>第 1-3(4) 先端的試験研究機器の整備等による技術支援サービスの充実</p>	<p>4 [3] H30 (4) H29 (4) H28 (4) H27 (4) H26 (3)</p>	<p>小項目 中期計画を十分達成</p>	<p>—</p>																																																				
<p>技術支援機能の強化</p>	<p>4 [4] H30 (4) H29 (4) H28 (4) H27 (4) H26 (3)</p>	<p>中期計画を十分達成</p> <p>○企業のニーズを反映した機器整備</p> <table border="1" data-bbox="818 1346 1294 1424"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>○技術支援サービス向上に必要な機器整備（新規・更新・増設）</p> <table border="1" data-bbox="818 1503 1198 1581"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21</td> <td>14</td> <td>18</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> <p>○機器の寿命の長期化のための修繕等</p> <table border="1" data-bbox="818 1626 1102 1704"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>○電話・窓口対応、事務手続き、技術支援サービス等の満足度が 94%以上</p> <table border="1" data-bbox="786 1776 1430 1910"> <thead> <tr> <th>対応</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電話や窓口</td> <td>98%</td> <td>94%</td> <td>94%</td> <td>96%</td> <td>98%</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>事務手続き等</td> <td>95%</td> <td>93%</td> <td>99%</td> <td>98%</td> <td>98%</td> <td>97%</td> </tr> <tr> <td>技術支援</td> <td>95%</td> <td>96%</td> <td>94%</td> <td>96%</td> <td>99%</td> <td>96%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・機器活用事例のパネル作成・掲示（計 25 機器） ・食品関連企業利用促進対策（調味料メーカー及び水産加工業者向け）の実施 ・機械加工関連企業利用促進対策の実施 	H26	H27	H28	H29	H30	4	4	2	5	3	H27	H28	H29	H30	21	14	18	26	H28	H29	H30	8	3	3	対応	H26	H27	H28	H29	H30	平均	電話や窓口	98%	94%	94%	96%	98%	95%	事務手続き等	95%	93%	99%	98%	98%	97%	技術支援	95%	96%	94%	96%	99%	96%	<p>45</p>
H26	H27	H28	H29	H30																																																			
4	4	2	5	3																																																			
H27	H28	H29	H30																																																				
21	14	18	26																																																				
H28	H29	H30																																																					
8	3	3																																																					
対応	H26	H27	H28	H29	H30	平均																																																	
電話や窓口	98%	94%	94%	96%	98%	95%																																																	
事務手続き等	95%	93%	99%	98%	98%	97%																																																	
技術支援	95%	96%	94%	96%	99%	96%																																																	

<p>ア 開放機器</p>	<p>3 [3] H30 (3) H29 (3) H28 (4) H27 (4) H26 (3)</p>	<p>中期計画を概ね達成</p> <p>・計画的な機器の保守・校正を継続的に行い、開放機器の信頼性を確保</p> <p>・開放機器一覧の継続的な配布(～H30)</p> <p>○中国地域 5 県及び熊本地震対応での使用料の県内と同一料金化 (中国 5 県 : 41 件(H28)、86 件(H29 件)、110 件(H30)、熊本地震対応 3 件(H28))</p> <p>○技術革新承認企業の開放機器使用料金減免措置の施行 (H28) (制度利用)</p> <table border="1" data-bbox="826 555 1166 622"> <thead> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>○開放機器専門操作補助員の 2 名増員が効果的に機能し、利用件数が増加傾向</p> <p>※H27 に 過去最高を達成</p> <table border="1" data-bbox="799 745 1315 913"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数(件)</td> <td>3,078</td> <td>3,565</td> <td>3,430</td> <td>3,066</td> <td>3,068</td> </tr> <tr> <td>利用金額(千円)</td> <td>20,629</td> <td>20,078</td> <td>20,482</td> <td>17,904</td> <td>17,519</td> </tr> </tbody> </table>	H28	H29	H30	2	1	1	年度	H26	H27	H28	H29	H30	利用件数(件)	3,078	3,565	3,430	3,066	3,068	利用金額(千円)	20,629	20,078	20,482	17,904	17,519	<p>47</p>																		
H28	H29	H30																																											
2	1	1																																											
年度	H26	H27	H28	H29	H30																																								
利用件数(件)	3,078	3,565	3,430	3,066	3,068																																								
利用金額(千円)	20,629	20,078	20,482	17,904	17,519																																								
<p>イ 依頼試験</p>	<p>4 [3] H30 (4) H29 (4) H28 (4) H27 (3) H26 (3)</p>	<p>中期計画を十分達成</p> <p>・試験方法の見直しや機器の保守、校正を継続的に行い、試験結果の公正性を確保と、オーダーメイド試験による柔軟な対応</p> <p>○オーダーメイド試験 (以下、O.M.) の割合が毎年増加 (～H28) し、H29 年度は O.M.試験以外の利用件数の増加により、利用金額が過去最高</p> <p>○H30 年度は、依頼試験の利用件数・オーダーメイド試験の利用件数が共に過去最高</p> <table border="1" data-bbox="788 1305 1401 1473"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数(件)</td> <td>621</td> <td>558</td> <td>577</td> <td>643</td> <td>774</td> </tr> <tr> <td>利用金額(千円)</td> <td>8,840</td> <td>10,688</td> <td>13,446</td> <td>14,176</td> <td>11,826</td> </tr> <tr> <td>O.M.*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>20%</td> <td>22%</td> <td>30%</td> <td>23%</td> <td>23%</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用金額</td> <td>36%</td> <td>54%</td> <td>65%</td> <td>58%</td> <td>53%</td> </tr> </tbody> </table> <p>*O.M. : オーダーメイド試験</p>	年度	H26	H27	H28	H29	H30	利用件数(件)	621	558	577	643	774	利用金額(千円)	8,840	10,688	13,446	14,176	11,826	O.M.*						利用件数	20%	22%	30%	23%	23%	割合						利用金額	36%	54%	65%	58%	53%	<p>48</p>
年度	H26	H27	H28	H29	H30																																								
利用件数(件)	621	558	577	643	774																																								
利用金額(千円)	8,840	10,688	13,446	14,176	11,826																																								
O.M.*																																													
利用件数	20%	22%	30%	23%	23%																																								
割合																																													
利用金額	36%	54%	65%	58%	53%																																								
<p>ウ 受託研究・共同研究</p>	<p>3 [3] H30 (3) H29 (3) H28 (3) H27 (3) H26 (3)</p>	<p>中期計画を概ね達成</p> <p>・企業からの共同研究・受託研究の実施状況 (再掲)</p> <table border="1" data-bbox="794 1688 1310 1861"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同研究</td> <td>16 (9)</td> <td>14 (4)</td> <td>3 (1)</td> <td>9 (3)</td> <td>12 (4)</td> </tr> <tr> <td>受託研究</td> <td>7 (0)</td> <td>11 (0)</td> <td>10 (0)</td> <td>11 (0)</td> <td>9 (0)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※()内は、複数年にまたがるもの。</p> <p>・開始時期、研究期間の柔軟な対応 (共同研究 : 計 21 件)</p>		H26	H27	H28	H29	H30	共同研究	16 (9)	14 (4)	3 (1)	9 (3)	12 (4)	受託研究	7 (0)	11 (0)	10 (0)	11 (0)	9 (0)	<p>48</p>																								
	H26	H27	H28	H29	H30																																								
共同研究	16 (9)	14 (4)	3 (1)	9 (3)	12 (4)																																								
受託研究	7 (0)	11 (0)	10 (0)	11 (0)	9 (0)																																								

<p>エ 技術者研修</p>	<p>3 [3] H30 (3) H29 (3) H28 (3) H27 (3) H26 (3)</p>	<p>中期計画を概ね達成</p> <p>・技術者受入れ所内研修：計74名</p> <table border="1" data-bbox="790 224 1340 548"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>技術者受入研修</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>スポット研修 (2週間以内)</td> <td>11</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>学生研修生</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>インターンシ ップ研修生</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>海外技術研修員</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>12</td> <td>17</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>・職員派遣研修：計10件(2件×5年)</p>		H26	H27	H28	H29	H30	技術者受入研修	0	8	2	2	1	スポット研修 (2週間以内)	11	3	6	7	10	学生研修生	1	2	3	2	1	インターンシ ップ研修生	3	2	1	5	2	海外技術研修員	1	0	0	1	0	計	16	15	12	17	14	<p>49</p>
	H26	H27	H28	H29	H30																																								
技術者受入研修	0	8	2	2	1																																								
スポット研修 (2週間以内)	11	3	6	7	10																																								
学生研修生	1	2	3	2	1																																								
インターンシ ップ研修生	3	2	1	5	2																																								
海外技術研修員	1	0	0	1	0																																								
計	16	15	12	17	14																																								
<p>オ 新事業創造支援センター</p>	<p>4 [3] H30 (4) H29 (3) H28 (3) H27 (4) H26 (4)</p>	<p>中期計画を十分達成</p> <p>・入居企業に対する開放機器使用料金の減免措置及び1企業最大2室までの使用許諾実施</p> <p>・技術革新計画承認企業に対する減免制度施行(制度利用1社)</p> <p>○H27年度一時9室の入居で過去最高</p> <p>○H27年度退出企業の3社は、それぞれ山口第2テクノパークに新社屋建設、宇部新都市に新工場建設、宇部新都市貸工場進出</p> <p>・H30年度は、H27年度以降減少を続けた入居企業数(室数)が増加に転じた</p> <p>○入居状況(全12室)</p> <table border="1" data-bbox="790 1209 1308 1355"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入居企業数 (室数)</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>※年度末</td> <td>(8)</td> <td>(8)</td> <td>(6)</td> <td>(5)</td> <td>(7)</td> </tr> </tbody> </table>		H26	H27	H28	H29	H30	入居企業数 (室数)	7	6	5	4	6	※年度末	(8)	(8)	(6)	(5)	(7)	<p>50</p>																								
	H26	H27	H28	H29	H30																																								
入居企業数 (室数)	7	6	5	4	6																																								
※年度末	(8)	(8)	(6)	(5)	(7)																																								
<p>第1-3-(5)数値目標</p>	<p>5 [5]</p>	<p>小項目</p>	<p>—</p>																																										
<p>ア 技術相談件数 5年間合計 16,500件</p>	<p>5 [5] H30 (5) H29 (4) H28 (5) H27 (5) H26 (4)</p>	<p>数値目標を達成 達成度 125%</p> <p>◎相談件数の推移</p> <table border="1" data-bbox="790 1668 1364 1758"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,815</td> <td>4,324</td> <td>4,301</td> <td>3,868</td> <td>4,368</td> <td>20,676</td> </tr> </tbody> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	計	3,815	4,324	4,301	3,868	4,368	20,676	<p>51</p>																														
H26	H27	H28	H29	H30	計																																								
3,815	4,324	4,301	3,868	4,368	20,676																																								

イ 訪問企業数 5年間合計 1,150社	5 [5] H30 (5) H29 (5) H28 (5) H27 (5) H26 (5)	数値目標を達成 達成度 171% ◎訪問企業数の推移 <table border="1" data-bbox="794 300 1374 421"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>348 (117)</td> <td>341 (272)</td> <td>423 (304)</td> <td>440 (255)</td> <td>414 (264)</td> <td>1,966 (1,212)</td> </tr> </tbody> </table> ※ () 内はイノベーション推進センターによるもの	H26	H27	H28	H29	H30	計	348 (117)	341 (272)	423 (304)	440 (255)	414 (264)	1,966 (1,212)	51																
H26	H27	H28	H29	H30	計																										
348 (117)	341 (272)	423 (304)	440 (255)	414 (264)	1,966 (1,212)																										
ウ 開放機器・依頼試験の利用件数 5年間合計 15,200件	5 [5] H30 (5) H29 (5) H28 (5) H27 (5) H26 (5)	数値目標を達成 達成度 128% ◎開放機器・依頼試験の利用件数推移 <table border="1" data-bbox="783 752 1437 987"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開放機器</td> <td>3,078</td> <td>3,565</td> <td>3,430</td> <td>3,066</td> <td>3,068</td> <td>16,207</td> </tr> <tr> <td>依頼試験</td> <td>621</td> <td>558</td> <td>577</td> <td>643</td> <td>774</td> <td>3,173</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,699</td> <td>4,123</td> <td>4,007</td> <td>3,709</td> <td>3,842</td> <td>19,380</td> </tr> </tbody> </table>		H26	H27	H28	H29	H30	計	開放機器	3,078	3,565	3,430	3,066	3,068	16,207	依頼試験	621	558	577	643	774	3,173	計	3,699	4,123	4,007	3,709	3,842	19,380	51
	H26	H27	H28	H29	H30	計																									
開放機器	3,078	3,565	3,430	3,066	3,068	16,207																									
依頼試験	621	558	577	643	774	3,173																									
計	3,699	4,123	4,007	3,709	3,842	19,380																									

【大項目】第2 業務運営の改善・効率化

(評定：b [b] 大項目ウエイト平均：3.0 [3.1])
 (H26：3.2, H27：3.0, H28：3.0, H29：3.0, H30：3.0)

中項目 小項目 細項目	評定	評定の理由 主な取組	報告書
第2-1 運営体制や経営資源配分の見直し	3 [3] H30 (3) H29 (3) H28 (3) H27 (3) H26 (3)	中期計画を概ね達成 ◎ <ul style="list-style-type: none"> 経営委員会、合同会議の定期的開催による迅速な意志決定 経営管理部事務職員のプロパー化(2名)及び増員(1名)(H27、H28) 経営企画室の設置 定年退職者の豊富な知識や経験を活用するため、再任用制度を導入し(H28)、シニアスタッフを配置(H28～) 国税ダイレクト方式電子納税の採用(H30) 	52

<p>第 2-2 職員の職能開発の計画的実施</p>	<p>3 [3] H30 (3) H29 (3) H28 (3) H27 (3) H26 (4)</p>	<p>中期計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修計画に基づき、外部機関への研修派遣や外部講師を活用した所内研修を実施 ・職員（研究員及び事務職員）の能力開発研修を体系的に整理し（H29）、運用を開始（H30） ・所内研修や他機関の事業・研修の活用による知財管理の質の向上（H26, H28, H29, H30：再掲） ・e ラーニング等による研究者行動規範教育（H27～） 	<p>53</p>
<p>第 2-3 法人サービスの「見える化」</p>	<p>3 [3] H30 (3) H29 (3) H28 (3) H27 (3) H26 (3)</p>	<p>中期計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 2 期「技術戦略」（ロードマップ）、山口県工業の沿革年表などなど刊行物(6 種類)を発行し、ホームページへの掲載や発表会・展示会等などを通じて広く配布 ・機器活用事例のパネル 25 機器作成・掲示(H27～：再掲) ・JAXA 展示コーナーの新設及び展示コーナー全体の見直し（H28） ・食品関連企業利用促進対策（調味料メーカー及び水産加工業者向け）の実施 ・機械加工関連企業利用促進対策の実施 	<p>55</p>
<p>第 2-4 コンプライアンスの確保</p>	<p>3 [3] H30 (3) H29 (3) H28 (3) H27 (3) H26 (3)</p>	<p>中期計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生委員会から安全衛生委員会への改組や、法令に基づく管理者・主任者等についてそれぞれの業務を精査 ・化学物質取扱規程を見直し、化学物質のリスクアセスメントを実施 ・チェックシートを用いた職場巡視と、結果に基づく職場環境の見直し ・地独法改正の伴う業務方法書の改訂、それに伴う規程類の整備 ・研究活動・公的研究費に係る不正行為・不正使用への対応等ガイドラインへの対応に係る規程類の整備 	<p>58</p>

<p>第 2-5 情報管理の徹底</p>	<p>3 [3] H30 (3) H29 (3) H28 (3) H27 (3) H26 (3)</p>	<p>中期計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員を対象に職員教育を実施 ・情報セキュリティに関する職員への指示・伝達 ・セキュリティ及びコンピュータによる情報漏洩防止の対策強化 <ul style="list-style-type: none"> ✓情報セキュリティ担当のシニアスタッフを配置し、情報セキュリティ規程を見直し、セキュリティポリシーの見直しに着手 (H29) ✓ネットワーク関連更新・保守計画を作成 (H29) ✓ホームページ Web サーバー、外部 DNS サーバーの外部委託 (H29) ✓ウィルス対策ソフトのクラウド化 (H30) ✓ネットワーク関連機器の計画的な更新 (H30) 	<p>59</p>
<p>第 2-6 危機管理対策の推進</p>	<p>3 [3] H30 (3) H29 (3) H28 (3) H27 (3) H26 (3)</p>	<p>中期計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務継続計画 (BCP) を策定(H26)し、随時見直しを行うとともに、検証・訓練を実施 ・BCP 専用メールアドレスを記載した「非常連絡系統図」の作成、配布および周知 ・集中豪雨や台風時の危機管理対策を検討 	<p>60</p>

【大項目】第3 財務内容の改善

(評定：a [a] 大項目ウエイト平均：3.6 [3.6])
(H26：3.6, H27：3.6, H28：3.6, H29：3.6, H30：3.6)

中項目 小項目 細項目	評定	評定の理由	報告書
		主な取組	
第3-1 自己収入の確保	4 [4] H30 (4) H29 (4) H28 (4) H27 (4) H26 (4)	<p>中期計画を十分達成</p> <p>○機器整備や研究開発に係る競争的資金の獲得 (機器整備：17 機器、研究開発：延べ 39 件)</p> <p>○イノベーション推進への外部資金の活用</p> <p>○使用料・手数料、受託研究及び知的財産の実施料などによる自己収入を確保し、H29 に依頼試験手数料が過去最高</p>	61
第3-2 経費の抑制	3 [3] H30 (3) H29 (3) H28 (3) H27 (3) H26 (3)	<p>中期計画を概ね達成</p> <p>・前年度事業費の実績の考慮と厳密な積算による効果的な予算配分による予算抑制</p> <p>・執行管理のため、上半期終了後に予算執行状況の集計・再配分を実施</p> <p>・比較的規模の小さな経費まで精査</p>	64

【大項目】第4 その他業務運営に関する重要事項

(評定：b [b] 大項目ウエイト平均：3.4 [3.3])

(H26：3.3, H27：3.3, H28：3.3, H29：3.3, H30：3.4)

中項目	評定	評定の理由	報告書																														
小項目		主な取組																															
細項目																																	
第4-1 施設設備の適正な管理			—																														
保守点検・修繕等の計画的な実施	3 [3] H30 (3) H29 (3) H28 (3) H27 (3) H26 (3)	<p>中期計画を概ね達成</p> <p>■施設・設備の保守点検、修繕状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保守業務への計画的な予算配分 ・必要性の高い修繕への優先的な予算執行 <p>■施設の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28年度に JAXA 展示コーナーを設置し、H29年度には第2期（H26以降）最大の見学者数 ・H30年度には外来受付者が H26年度以降最高 	65																														
<p>【数値目標】</p> <p>来庁者数 5年間合計 55,000人</p>	4 [4] H30 (5) H29 (5) H28 (4) H27 (4) H26 (4)	<p>数値目標を達成 達成度 115%</p> <p>○計 63,073 人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設利用者</td> <td>4,216</td> <td>4,050</td> <td>4,033</td> <td>4,035</td> <td>3,739</td> </tr> <tr> <td>見学者</td> <td>753</td> <td>780</td> <td>706</td> <td>1,196</td> <td>1,014</td> </tr> <tr> <td>外来受付者</td> <td>6,906</td> <td>6,969</td> <td>7,974</td> <td>8,161</td> <td>8,541</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11,875</td> <td>11,799</td> <td>12,713</td> <td>13,392</td> <td>13,294</td> </tr> </tbody> </table>		H26	H27	H28	H29	H30	施設利用者	4,216	4,050	4,033	4,035	3,739	見学者	753	780	706	1,196	1,014	外来受付者	6,906	6,969	7,974	8,161	8,541	計	11,875	11,799	12,713	13,392	13,294	66
	H26	H27	H28	H29	H30																												
施設利用者	4,216	4,050	4,033	4,035	3,739																												
見学者	753	780	706	1,196	1,014																												
外来受付者	6,906	6,969	7,974	8,161	8,541																												
計	11,875	11,799	12,713	13,392	13,294																												
第4-2 環境負荷の低減	3 [3] H30 (3) H29 (3) H28 (3) H27 (3) H26 (3)	<p>中期計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントの取組を継続し、省エネ・省資源、ゴミの分別収集による古紙などの再資源化等を実施 ・H29年度に廃棄物管理の体制と規程の見直し ・H30年度に省エネアイデアに関わるアンケートを実施 	67																														

4 第2期中期目標期間評価結果を受けて、令和元年度に実施する特筆すべき事項

- ① 成長産業における研究開発支援体制の強化 <第1-1 成長産業の発展に向けたイノベーションの推進>
- 成長産業の発展に向けて、県内企業のニーズ、シーズの発掘から事業化に至るまでの研究開発プロジェクトを総合的に支援するコーディネート体制を次のように強化する。
- ・ 医療関連、環境・エネルギー、バイオ関連産業におけるイノベーションの推進を支援する「イノベーション推進センター」の継続・運営
 - ・ 県内基幹産業（基礎素材、輸送用機械）などの研究者や技術者が交流する場（やまぐちR&Dラボ）を構築し、企業連携による新技術・製品等の創出を支援する「R&Dラボ推進事務局」の設置・運営
 - ・ 県内企業の衛星データの利用促進を支援する「宇宙データ利用推進センター」の設置・運営
 - ・ I o Tベンダーとユーザーの協創によって、I o Tを活用した新たなビジネスの創出を支援する「I o Tビジネス創出支援拠点」の設置・運営
- ② 各種技術研究会活動の積極的な展開 <第1-2 中小企業力の「底力」の発揮に向けたものづくり力の高度化・ブランド化の推進>
- ・ 新しい技術研究会の創設を含め、「やまぐちブランド技術研究会」を中心とした技術研究会の再編を適切に行い、それらの研究会活動を積極的に展開する。
- ③ 「中核的技術支援拠点」としての更なる機能強化 <第1-3 「中核的技術支援拠点」としての更なる機能強化>
- <相談等の充実>
- ・ 支援結果の継続的なフォローアップの効果的・効率的な手法について検討する。
- <技術支援サービスの充実>
- ・ 「バーチャル3Dものづくり支援センター」の運用を開始する。
- ④ 適時・適切な情報発信 <第2-2 センター業務の「見える化」の推進>
- ・ 第3期「技術戦略」を策定し、冊子化する。

平成26年度決算

1 企業会計ベース

(1) 貸借対照表の要旨 (平成27年3月31日現在) (単位：百万円)

資産の部		負債及び資本の部	
固定資産	6,025	固定負債	305
有形固定資産	6,018	流動負債	76
土地	1,001		
建物	4,629	【負債合計】	380
その他	388	資本金	6,375
無形固定資産	6	資本剰余金	△655
		資本剰余金	169
		損益外減価償却累計額	△824
流動資産	174	損益外減損損失償却累計額	△1
現金及び預金	102	利益剰余金	98
その他	72	積立金	77
		当期末処分利益	21
		【資本合計】	5,818
資産合計	6,199	負債・資本合計	6,199

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

(2) 損益計算書の要旨 (平成26年4月1日～平成27年3月31日) (単位：百万円)

費用の部		収益の部	
経常費用	836	経常収益	856
業務費	285	運営費交付金収益	567
人件費	435	使用料・手数料収益	36
管理運営費	116	特許実施料	11
		研究事業等収益	151
		資産見返負債戻入	89
		その他収益	1
臨時損失	139	臨時利益	139
(当期純利益	20)		
当期総利益	21	目的積立金取崩額	1
合計	996	合計	996

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

2 官庁会計ベース

(単位：百万円)

収入		支出	
運営費交付金	585	業務費	241
施設費	26	人件費	449
研究費収入	149	一般管理費	113
補助金収入	117	施設費	148
その他自己収入	49		
前年度繰越金	41		
積立金取崩	4		
合計	971	合計	950
収支差額			21

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

平成27年度決算

1 企業会計ベース

(1) 貸借対照表の要旨 (平成28年3月31日現在) (単位：百万円)

資産の部		負債及び資本の部	
固定資産	5,848	固定負債	229
有形固定資産	5,826	流動負債	174
土地	1,001		
建物	4,499	【負債合計】	403
その他	326	資本金	6,375
無形固定資産	22	資本剰余金	△756
		資本剰余金	229
		損益外減価償却累計額	△985
流動資産	254	損益外減損損失償却累計額	△1
現金及び預金	168	利益剰余金	80
その他	86	研究・業務運営充実積立金	21
		積立金	38
		当期末処分利益 (※H26:21)	21
		【資本合計】	5,699
資産合計 (※H26:6,199)	6,102	負債・資本合計	6,102

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

(2) 損益計算書の要旨 (平成27年4月1日～平成28年3月31日) (単位：百万円)

費用の部		収益の部	
経常費用	966	経常収益	982
業務費	310	運営費交付金収益	663
人件費	538	使用料・手数料収益	38
管理運営費	118	特許実施料	12
		研究事業等収益	160
		資産見返負債戻入	108
		その他収益	1
臨時損失	0	臨時利益	1
(当期純利益)	16)		
		目的積立金取崩額	5
当期総利益	21		
合計 (※H26:996)	987	合計	987

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

2 官庁会計ベース

(単位：百万円)

収入		支出	
運営費交付金	691	業務費	206
施設費	50	人件費	538
研究費収入	120	一般管理費	115
補助金収入	70	施設費	91
その他自己収入	1		
前年度繰越金	0		
積立金取崩	39		
合計 (※H26:971)	971	合計	950
収支差額			21

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

平成28年度決算

1 企業会計ベース

(1) 貸借対照表の要旨 (平成29年3月31日現在) (単位：百万円)

資産の部		負債及び純資産の部	
固定資産	5,666	固定負債	189
有形固定資産	5,650	流動負債	95
土地	1,001		
建物	4,381	【負債合計】	284
その他	268	資本金	6,375
無形固定資産	16	資本剰余金	△898
		資本剰余金	260
		損益外減価償却累計額	△1,158
流動資産	167	損益外減損損失償却累計額	△1
現金及び預金	44	利益剰余金	72
その他	123	前中期目標期間繰越積立金	13
		研究・業務運営充実積立金	42
		当期末処分利益 (※H27:21)	17
		【純資産合計】	5,549
資産合計 (※H27:6,102)	5,833	負債・純資産合計	5,833

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

(2) 損益計算書の要旨 (平成28年4月1日～平成29年3月31日) (単位：百万円)

費用の部		収益の部	
経常費用	948	経常収益	949
業務費	330	運営費交付金収益	614
人件費	492	使用料・手数料収入	38
管理運営費	126	特許実施料	12
		受託事業等収益	188
		資産見返負債戻入	91
		その他収益	5
臨時損失	0	臨時利益	0
(当期純利益)	1)		
当期総利益	17	目的積立金取崩額	16
合計 (※H27:987)	965	合計	965

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

2 官庁会計ベース

(単位：百万円)

収入		支出	
運営費交付金等	645	業務費	253
使用料・手数料等収入	50	人件費	492
研究費収入	157	一般管理費	121
補助金収入	78	施設費	74
その他自己収入	1		
前年度繰越金	0		
目的積立金取崩	25		
合計 (※H27:971)	956	合計	940
収支差額			17

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

平成29年度決算

1 企業会計ベース

(1) 貸借対照表の要旨 (平成30年3月31日現在) (単位：百万円)

資産の部		負債及び純資産の部	
固定資産	5,500	固定負債	167
有形固定資産	5,484	流動負債	169
土地	1,001		
建物	4,261	【負債合計】	336
その他	222	資本金	6,375
無形固定資産	16	資本剰余金	△1,042
		資本剰余金	289
流動資産	237	損益外減価償却累計額	△1,330
現金及び預金	79	損益外減損損失償却累計額	△1
その他	158	利益剰余金	68
		前中期目標期間繰越積立金	9
		研究・業務運営充実積立金	59
		当期末処分利益 (※H28:17)	0
		【純資産合計】	5,401
資産合計 (※H28:5,833)	5,737	負債・純資産合計	5,737

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

(2) 損益計算書の要旨 (平成29年4月1日～平成30年3月31日) (単位：百万円)

費用の部		収益の部	
経常費用	924	経常収益	923
業務費	309	運営費交付金収益	589
人件費	496	使用料・手数料収入	37
管理運営費	119	特許実施料	1
		受託事業等収益	225
		資産見返負債戻入	70
		その他収益	1
臨時損失	0	臨時利益	0
(当期純利益)	△1)		
		目的積立金取崩額	1
当期総利益	0		
合計 (※H28:965)	924	合計	924

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

2 官庁会計ベース

(単位：百万円)

収入		支出	
運営費交付金等	629	業務費	253
使用料・手数料等収入	36	人件費	496
研究費収入	193	一般管理費	115
補助金収入	67	施設費	67
その他自己収入	2		
前年度繰越金	0		
目的積立金取崩	4		
合計 (※H28:956)	931	合計	931
収支差額			0

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

平成30年度決算

1 企業会計ベース

(1) 貸借対照表の要旨 (平成31年3月31日現在) (単位：百万円)

資産の部		負債及び純資産の部	
固定資産	5,414	固定負債	228
有形固定資産	5,394	流動負債	157
土地	1,001		
建物	4,130	【負債合計】	385
その他	263	資本金	6,375
無形固定資産	20	資本剰余金	△1,189
		資本剰余金	304
		損益外減価償却累計額	△1,493
流動資産	210	損益外減損損失償却累計額	△1
現金及び預金	54	利益剰余金	53
その他	156	前中期目標期間繰越積立金	0
		研究・業務運営充実積立金	53
		当期末処分利益 (※H29:0)	0
		【純資産合計】	5,238
資産合計 (※H29:5,737)	5,624	負債・純資産合計	5,624

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

(2) 損益計算書の要旨 (平成30年4月1日～平成31年3月31日) (単位：百万円)

費用の部		収益の部	
経常費用	870	経常収益	870
業務費	256	運営費交付金収益	603
人件費	489	使用料・手数料収入	34
管理運営費	126	特許実施料	1
		受託事業等収益	94
		資産見返負債戻入	60
		その他収益	78
臨時損失	0	臨時利益	0
(当期純利益)	0)		
当期総利益	0	目的積立金取崩額	0
合計 (※H29:924)	870	合計	870

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

2 官庁会計ベース

(単位：百万円)

収入		支出	
運営費交付金等	624	業務費	203
使用料・手数料等収入	34	人件費	489
研究費収入	138	一般管理費	122
補助金収入	62	施設費	132
その他自己収入	1		
前年度繰越金	71		
目的積立金取崩	16		
合計 (※H29:931)	947	合計	947
収支差額			0

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

(別表) 平成 26-30 年度評価における項目別評価結果総括表

(大項目) (中項目) (小項目) (細項目)	H26	H27	H28	H29	H30	中期計画 における 対象細項 目数	年度計画 における 対象細項 目数	細項目別評価の評点内訳 (個数)					細項目別 評価の評 点の平均 値	小項目 別評価 の評点	各小項目のウエイト		中項目別 評価 (加重平 均値)	各中項目のウエイト		大項目別 評価 (加重平 均値)	各中項目 のウエイト	全体評価 (加重平 均値)	
								5 点	4 点	3 点	2 点	1 点			計	配分		考え方	配分				考え方
全体評価						34	34	31	57	81	1	0	170										
第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上						23	23	29	48	37	1	0	115										
1 戦略産業の育成・集積に向けた地域イノベーションの推進						2	2	1	9	0	0	0	10					ウエイト平均 a(4.0)	0.4				
(1) 戦略産業分野における研究開発を支援する体制の整備						1	1	0	5	0	0	0	5	4	0.5	いずれも重要な取 り組みでありウエ イトは等分に配分	ウエイト平均 a(4.0)	0.4					
各種研究開発プロジェクトを総合的に推進する体制の構築と運営	4	4	4	4	4	1	1	0	5	0	0	0	5	4.0	4								
(2) 産学公や企業間連携による研究開発・事業化の促進						1	1	1	4	0	0	0	5	4	0.5	単純平均 a(4.0)	0.4						
企業間や産学公が連携した研究開発プロジェクトの発掘等	5	4	4	4	4	1	1	1	4	0	0	0	5	4.2	4								
2 中小企業力の向上に向けたものづくり力の高度化・ブランド化の推進						9	9	15	17	12	1	0	45					ウエイト平均 a(3.6)	0.3				
(1) 事業化戦略を踏まえた実用化研究への重点的取組						1	1	0	2	3	0	0	5	3	0.3	「実用化研究への 重点的取組」に重 点的に配分	ウエイト平均 a(3.6)	0.3					
第2期技術戦略の明示と計画的な研究開発の実施	4	4	3	3	3	1	1	0	2	3	0	0	5	3.4	3								
(2) 研究開発成果の普及とその活用						2	2	0	2	8	0	0	10	3	0.2	*数値目標につい て、「細項目別評 価の評価の平均 値」は、それぞ れの項目について 、目標値に対する 実績の割合から評 価し、それらの単 純平均値をとる。	ウエイト平均 a(3.8)	0.3					
ア 研究開発成果の発信とその成果の活用支援	4	3	3	4	3	1	1	0	2	3	0	0	5	3.4	3								
イ 知的財産の適切な管理	3	3	3	3	3	1	1	0	0	5	0	0	5	3.0	3	*数値目標につい て、「細項目別評 価の評価の平均 値」は、それぞ れの項目について 、目標値に対する 実績の割合から評 価し、それらの単 純平均値をとる。	ウエイト平均 a(3.9)	0.3					
(3) 各種技術研究会活動の積極的展開						1	1	0	5	0	0	0	5	4	0.2								
各種技術研究会活動の積極的な展開及び研究開発の促進	4	4	4	4	4	1	1	0	5	0	0	0	5	4.0	4	単純平均 a(3.8)	0.3						
(4) 研究開発計画策定や資金獲得の支援						1	1	1	4	0	0	0	5	4	0.2								
研究開発計画策定や資金獲得の支援	5	4	4	4	4	1	1	1	4	0	0	0	5	4.2	4	単純平均 a(3.9)	0.3						
(5) 数値目標						4	4	14	4	1	1	0	20	5	0.1								
ア 特許等の出願及び新規使用許諾件数	3	4	2	5	4	1	1	1	2	1	1	0	5	3.0*	3	戦略産業の育成・集 積に向けた地域イノ ベーションの推進に 重点をおいて配分	ウエイト平均 a(3.9)	0.7					
イ 山口県技術革新計画の承認支援件数	5	5	5	5	4	1	1	4	1	0	0	0	5	5.0*	5								
ウ センター支援による国等の提案公募型事業の獲得件数	5	5	5	5	5	1	1	5	0	0	0	0	5	5.0*	5	単純平均 a(3.9)	0.7						
エ 研究開発・技術支援が事業化(商品化)に至った件数	5	4	5	5	5	1	1	4	1	0	0	0	5	5.0*	5								
3 「中核的技術支援拠点」としての更なる機能強化						12	12	13	22	25	0	0	60					ウエイト平均 a(4.0)	0.3				
(1) 効果的かつ切れ目のない企業支援の一層の充実						1	1	0	3	2	0	0	5	4	0.2	いずれも重要な取 り組みでありウエ イトは等分に配分	ウエイト平均 a(4.0)	0.3					
国等の産業振興施策への積極的な協力及び他の支援機関との連携	3	3	4	4	4	1	1	0	3	2	0	0	5	3.6	4								
(2) 技術相談の充実						1	1	0	0	5	0	0	5	3	0.2	*数値目標につい て、「細項目別評 価の評価の平均 値」は、それぞ れの項目について 、目標値に対する 実績の割合から評 価し、それらの単 純平均値をとる。	ウエイト平均 a(4.0)	0.3					
相談窓口機能の充実及び職員の対応力の強化	3	3	3	3	3	1	1	0	0	5	0	0	5	3.0	3								
(3) 新たな技術課題の掘り起こし						1	1	0	5	0	0	0	5	4	0.2	単純平均 a(4.0)	0.3						
1次産業や3次産業の技術課題を掘り起こす取組の強化	4	4	4	4	4	1	1	0	5	0	0	0	5	4.0	4								
(4) 先端的試験研究機器の整備等による技術支援サービスの充実						6	6	0	12	18	0	0	30	4	0.2	ウエイト平均 A(3.7)	0.3						
機器操作補助員の拡充による技術支援機能の強化	3	4	4	4	4	1	1	0	4	1	0	0	5	3.8	4								
ア 開放機器	3	4	4	3	3	1	1	0	2	3	0	0	5	3.4	3	単純平均 B(3.5)	0.3						
イ 依頼試験	3	3	4	4	4	1	1	0	3	2	0	0	5	3.6	4								
ウ 受託研究・共同研究	3	3	3	3	3	1	1	0	0	5	0	0	5	3.0	3	単純平均 B(3.5)	0.3						
エ 技術者研修	3	3	3	3	3	1	1	0	0	5	0	0	5	3.0	3								
オ 新事業創造支援センターの効果的活用	4	4	3	3	4	1	1	0	3	2	0	0	5	3.6	4	単純平均 B(3.5)	0.3						
(5) 数値目標						3	3	13	2	0	0	0	15	5	0.2								
ア 技術相談件数	4	5	5	4	5	1	1	3	2	0	0	0	5	5.0*	5	単純平均 B(3.5)	0.3						
イ 訪問企業数	5	5	5	5	5	1	1	5	0	0	0	0	5	5.0*	5								
ウ 開放機器・依頼試験の利用件数	5	5	5	5	5	1	1	5	0	0	0	0	5	5.0*	5	単純平均 B(3.5)	0.3						

